



こらぼ大森イベント掲示板

入門からはじめる英会話サロン

オリンピックまでに英会話にチャレンジ！
お茶でも飲みながら気軽に話してみませんか？
★英語にはまったく自信がなく、基本のABCからはじめたい
★ひとに自分の英語を聞かれることが不安
★いつか海外旅行で気軽に英語を話したい
私たちの英会話サロンのモットーは”楽しく”
英語に慣れることです。
ていねいな指導なので、自分の成長を着実に感じることができます。
気軽に同じ目標をもった仲間たちと一緒に学びましょう！

時間：3/10（火） 3/24（火）
10：30～11：30

場所：こらぼ大森

参加費：500円

対象年齢：18歳以上の方（学生・主婦・自営業・サラリーマン）

※ただし、お子さま連れはご遠慮ください。

申し込み方法：メールまたは直接下記ご連絡先までご連絡ください。

お問い合わせ先

英会話同好会 in OTA（通称：EDO会）

TEL&FAX: 03-3729-3849

E-mail: edokai.info@gmail.com

主催：英会話同好会 in OTA（通称：EDO会）
国際交流団体 認可

共催：一般財団法人尚徳会（心のケアを学ぶ学校）

後援：大田セーラム倶楽部

てらこや@こらぼ生徒募集

場所：こらぼ大森の2階会議室

日時：毎週木曜日午後4時45分から6時45分まで

費用：1回 500円（参加費）

対象：小学4年生から中学3年生

学校の勉強が分からない

ちょっとしたアドバイスがほしいな

高校受験に向けて今から頑張りたい

という子どもたちに

指導経験豊富な先生と若者たちとでアドバイスします。

お問い合わせ てらこや@こらぼ事務局

メール：yuuefu@mbc.nifty.com

子どもたちの勉強をサポートするスタッフも同時募集中です

こらぼ大森でボランティア募集中

こらぼ大森ではただ今ボランティアを募集しています。

- ・情報誌の袋詰めや会員さんへの手配り
- ・花壇のお花のお手入れ
- ・芝生の養生作業
- ・その他ちょっとしたお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら

こらぼ大森協働Ⅰ（電話：03-5753-6616）までご連絡ください。

発行：こらぼ大森ニュース編集委員会

発効日：2015年3月1日

TEL：03-5753-6616 FAX：03-5753-6560

住所：大田区大森西2-16-2

大田区区民活動支援施設大森【こらぼ大森】内

こらぼ大森ニュース

第5号

もくじ

- ・モノづくりが息づく町 大森とこらぼ大森
- ・LET'S こらぼ 平川製作所
- ・こらぼ大森10年を顧みて／こんな本あんな本
- ・こらぼ大森イベント掲示板



モノづくりが息づく町 大森とこらぼ大森

現在もモノづくりの伝統が息づく街大森。区内に住む小関智弘氏は、著書の中でかつての熟練工は、図面を渡されたらまず、その部品を作るためにはどんな段取りをするべきかを考え、そのために必要な道具や刃物を選び、削る手順を決め、自分で削って、測定もしたと書いています。こうした熟練の技から学び生かし継承してゆくべき多くの事があります。

こらぼ大森では3月12日から14日まで「こらぼdeアート」を開催し、こらぼ大森の中で活動する団体や個人の皆さんと近隣の町工場のご協力で、様々な作品と製品の展示とワークショップを行います。ぜひおいで下さい。

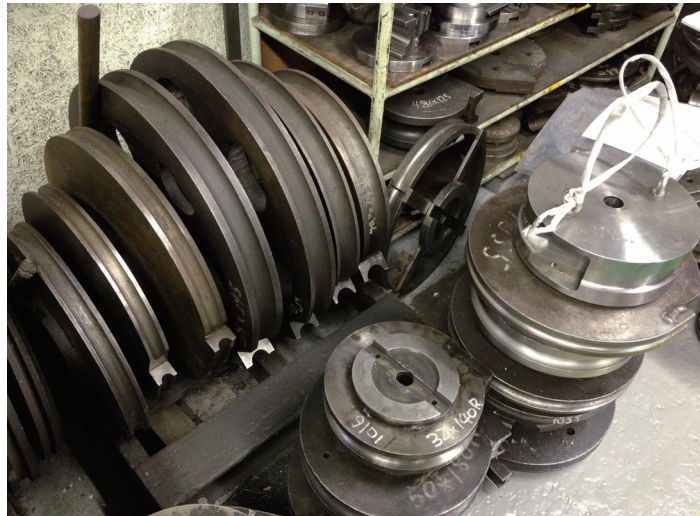
井上直
2015



LET'S こらぼ

「不景気が続く今日この頃、中小企業が集まる大田区の町工場の声をうかがいます」。テレビのニュースでこんな現場レポートを見たことがある方も多いでしょう。その特徴は、高度な技術力と集積した工場同士で加工をまわしながら部品をつくりあげる「仲間まわし」にあります。そのオンリーワンの世界からみえてくるものづくりの一端を探ってみました。

株式会社 平川製作所



（株）平川製作所は鉄・ステンレス・アルミ・銅・真鍮などの丸パイプ・角パイプ・偏平パイプなどの曲げ加工をおこなっています。これらは、スチール家具や手摺・装飾パイプなど、また、自動車部品や冷却コイルなど目に見えにくいところにも使われています。その技術が評価され、平成 13 年度・平成 18 年度の大田区『優工場』に認定され、平成 18 年度には『まちに優しい』部門にて表彰されました。また、大田ブランド (ONLY OTA QUALITY) 認定工場でもあります。ちなみにこらぼ大森正門にある池の手摺も平川製作所製です。

前職が不動産関係という代表取締役の柳沢重次郎さんが平川製作所で仕事をするようになった当時、職人さんの独特の仕事ぶりを理解するのに苦労したといいます。「いくら上からものを言っても、職人はこちらに腕がないとついて

きません。まずは図面が読めないと話にならないし、知ったかぶりはすぐ見透かされます」。ものづくりにはすべて行程があるということを理解すること。職人の個性は人それぞれ、相手に納得して作業をしてもらうことを常に心がけているとのこと。

市場のグローバリズムが席卷する現在、大企業は安い人件費を求め海外に工場をつくります。資本力があれば設備投資をし、質より量を重視します。そのような相手と競争しなければならぬ中小企業の中で生き残っているのは特色がある工場だと柳沢さんはいいます。実際、曲げ加工の技術の情報が広がり、平川製作所にはインターネットを通して全国からの発注が後を絶たないそうです。

「大田区の町工場は関連業者がまわりにいるという立地条件のよさがあります」と柳沢さん。フットワークが軽く、さらには部品を小ロットで調達可能であることも強みです。「大田区の町工場だからできるはず」という発注主の声を励みに、平川製作所は今日ものづくりに取り組みます。

株式会社平川製作所
大田区大森西 2-17-14
電話：03-3764-1388
FAX：03-3768-1939



こらぼ大森

平成 26 年度をふりかえって

平成 26 年 4 月 18 日「こらぼ大森開設 10 周年祝賀会・記念式典」が行われました。近隣自治会・町会関係の皆さんはもちろんのこと、行政と区内で活動する N P O や区民活動団体の皆さん等多数にご出席くださいました。松原区長をはじめご来賓の方々からも暖かい激励の言葉を頂きました。

そして、8 月 23 日には第 11 回こらぼ大森夏祭りを開催しました。今回のテーマは「東北の復興応援を地域の力と心で」として、福島・宮城・岩手 3 県からの物産品も販売して、交流の輪が広がりました。地域の皆さんと近隣事業所からも大きなご支援を頂きました。深く感謝いたします。

また、区民活動や地域の皆さんの社会的活動を支援する目的から「会計講座」や「健康講座」を開催し、防災に関する講座やイベントも実施しました。その他、スポーツや文化活動はじめ

地域の皆さんと区民活動団体とが様々な形でこらぼ大森を利用してくださいました。

さらに今年度から地域とこらぼ大森を結び「こらぼニュース」の発行を 9 月から開始しました。

こうした様々な取り組みを通じて、地域の皆さんとこらぼ大森や区民活動団体とのつながりが深まり発展するように、これからも努力してゆきたいと思います。

こらぼ大森 平成 26 年度を振り返って

4 月	こらぼ大森開設 10 周年記念祝賀会・式典
5 月	グラウンドで芝の苗植えワークショップ
6 月	ボランティアの皆さんが合同で園芸活動開始
7 月	グラウンド利用団体交流会
8 月	第 11 回こらぼ大森夏祭り
9 月	みんなで育てようこらぼの芝生 - ワークショップ
10 月	防災ファシリテーター養成講座実施
11 月	防災体験フェスティバルを実施
11 月	子ども交流センターのボレボレエコ祭り
12 月	健康講座
1 月	書初め会・展示
2 月	第 2 回健康講座 (2 月 20 日)
3 月	☆こらぼ de アート (3 月 12 日～ 14 日)



こんな本あんな本

こらぼ大森 2F 情報交流室 1 の図書コーナーで貸出している本をご紹介します。

ファシリテーション・グラフィックとは、議論の内容をホワイトボードや模造紙などに文字や図形を使って分かりやすく表現し、「議論を描く」こと。その大きなメリットは 2 つ。話し合いのプロセスを共有できること。そして対等な参加を促進できること。

意見がかみ合わなかったり、まとまらなかったり、意見が出なかったりの会議は誰でも経験したことがあるはず。そんな窮屈な場も、話し合いの内容を「見える化」することで、活発で創造的な会議に変わっていきます。本書では、その技法をイラストを交え分かりやすい論理展開で解説されています。

★新規入荷！



ファシリテーション・グラフィック
著者：堀公俊＋加藤彰
出版社：日本経済新聞